事例No.	1704
公表年度	R4
団体の属性	中核市
団体名	兵庫県姫路市

事例区分	公営企業

タグ	・（公営企業）水道事業 ・ICT ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	DX

事例内容・タイトル

離島地域の水道事業におけるスマートメーターによる自動検針

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【兵庫県姫路市】
離島地域の水道事業におけるスマートメーターによる自動検針

DX　水道事業

兵庫県姫路市上下水道局経営管理部上下水道サービス課

● 取組の概要

離島地域における検針業務の効率化を実現するため、スマートメーターによる自動検針を導入した。

◆総事業費　482,130千円（令和3年度包括委託料）

◆背景

- 本市には離島地域である約40の島々からなる家島諸島があるところ、このような離島などの難検針地域では、各戸を訪問すること自体の負荷が大きく、課題であった。
- 検針業務の民間委託を契機に、これらの課題を解決する方策として、家島町西島においてスマートメーターによる自動検針の実用化を進めることとなった。

◆具体的内容

- 第一環境株式会社より自動検針導入の提案があり、水道事業管理者の判断により導入を目指すこととなった。
- 第一環境株式会社の職員が地元自治会・各利用者へ説明を行い、地元地域の同意を得たうえで、現場での電波状況の確認、機器の設置などを行った。
- 28個のスマートメーターを導入することにより、家島町西島における検針業務を全て自動化した。

◆効果

- 自動検針システムの導入により、直接現地を訪問し検針する必要がなくなり、検針に係る経費が削減され、業務効率が高まった（民間事業者の提案により、コストをかけず実施）。
- 自動検針の導入以前は、時化などの悪天候により離島地域において検針できない場合があったが、自動検針を行うことでこの問題を解決でき、業務の安定化を実現した。

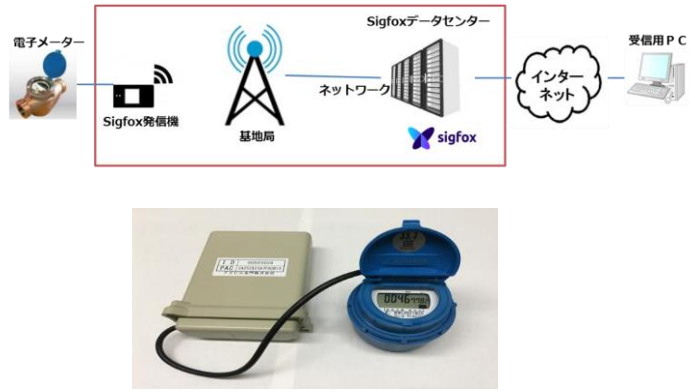
● 取組のポイント

- 離島における自動検針においては、現地を訪問しないため、夏場の雑草等により、メーターの交換等のための位置把握が困難になるケースがあり、職員に変更があってもメーターの現地状況等の確認を行うようにしておく必要がある。
- 検針業務に自動検針を導入することで、次の効果があった。
  ① 漏水の早期発見、無断使用や無断退去等のチェックにも活用が可能である。
  ② 将来的には、1人暮らしの高齢者等の見守りなどへの活用も期待できる。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　526,792人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　534.56km^2（令和4年1月1日時点）
- 給水人口　523,501人（令和3年度決算）

サービス提供イメージ



● 取組のスケジュール

- 平成29年4月に検討を開始し、平成29年6月から電波調査等の現地での実証実験等を開始。
- 平成29年11月から現地運用開始。

● 今後の展望

- 西島以外の離島地域、山村地域等の難検針地域においても、自動検針の導入について、検討を進めている。
- 今後、関西電力との共同検針も視野に導入を検討していく。